

News release

マーシュ ジャパン、三菱電機保険サービス株式会社の株式取得を完了 - 清野一郎が代表取締役社長に就任

東京 2025 年 11 月 4 日 | 保険仲介とリスクマネジメントの世界的なリーディングカンパニーで、マーシュ・マクレンランの一員である [マーシュ](#) (NYSE: MMC) は、本日、[以前に発表した三菱電機株式会社からの三菱電機保険サービス株式会社の株式取得手続き](#)を正式に完了したことを発表します。これに伴い、同社は今後、マーシュ ジャパンの一員として、社名を MEIS 保険サービス株式会社 (以下、[MEIS](#)) に変更し事業を展開します。

1999 年に設立された MEIS は、賠償責任保険、財物保険、貨物保険、労災保険、自動車保険、アンブレラ保険、役員賠償責任保険、サイバー保険など幅広い企業保険分野に加え、損害保険、生命保険、医療・介護保険プログラムなど、職域向けの高付加価値かつコスト効率の高い保険サービスを顧客に提供しています。

また、本日付けで清野一郎が代表取締役社長に就任します。清野一郎は 1995 年にマーシュ ジャパンに入社、2021 年からはマーシュ アジアのリージョナルオートモーティブインダストリーリーダーを務めています。2023 年より三菱電機保険サービス株式会社の代表取締役社長を務めてきた古田克哉氏は、取締役会長に就任します。

マーシュ・マクレンラン ジャパン CEO の中西主は次のように述べています。

「本日、MEIS の従業員の皆様とその顧客をマーシュに正式に迎え入れられることを大変嬉しく思います。清野一郎のリーダーシップのもと、マーシュのグローバルネットワークとリスクマネジメントの専門知識を、同社が長年にわたり築いてきたお客様との信頼関係および実績と組み合わせ、一段と強化される幅広い商品・サービスを通じて、お客様により一層の価値を提供してまいります。今回の取引は、マーシュが日本に対して約 70 年にわたって積み重ねてきた取り組み、そして日本市場に最高のグローバルソリューションを提供するという私たちの決意に基づくものです」

清野一郎は就任にあたり、以下のようにコメントしています。

「このたび、重要な局面において、新生 MEIS の舵を取る機会をいただき、大変光栄に存じます。全てのお客様にこれまでと変わらず信頼できるサービスを提供し続けることを最優先に取り組みます。マーシュのグローバルリソース、マーケットアクセス、専門性と融合することで、より高いレベルの価値をお客様に提供してまいります」

マーシュについて

[マーシュ](#)は[マーシュ・マクレンラン](#) (NYSE: MMC) の一員であり、世界有数の保険仲介およびリスクアドバイザーです。マーシュ・マクレンランは、リスク、戦略、人的資本の領域におけるグローバルリーダーであり、[マーシュ](#)、[ガイ・カーペンター](#)、[マーサー](#)、[オリバー・ワイマン](#)の 4 つのビジネスを通じて、世界 130 カ国にわたるクライアント企業にサービスを提供しています。マーシュ・マクレンランは、年間総収入 240 億米ドル超、総勢約 90,000 名以上のスタッフを擁し、未来への確かな視点を通じて、ビジネスを成功へと導くサポートをしています。詳細については、marsh.com あるいは [LinkedIn](#) や [X](#) をご覧ください。

お問い合わせ

マーシュ・マクレナン

広報担当

ヘレラ純代

+81 3 6775 6740

sumiyo.herrera@mmc.com